

山田中学校だより 5月号

平成 24年 5月 1日

学校と
家庭と
地域を



つなぐ



三島市立山田中学校

※学校ホームページでもご覧になれます。

自分の命は自分で守る



阪神淡路大震災から20年近くが過ぎ、昨年は東日本大震災と、日本中が深い悲しみに覆われました。

岩手県釜石市は震災で死者、行方不明者 1100 人を超えたといいますが、約 3000 人いる小中学生のほとんどが無事に避難しました。誰からともなくあがった『まず逃げろ』が子どもたちの命を救ったといえます。

『11日午後2時46分、釜石市の中学2年生の〇〇さん(14)は、運動場で野球部の練習を始めようとして大きな揺れを感じた。校舎がしなるように揺れ、立っているのもやっと。長く続いた揺れが収まると、校舎からみんなが駆け下りてきた。

「まず逃げろ。」誰からともなく声があがった。隣にある小学校の児童たちはいったん3階に上がったが、校庭に集まる中学生を見て、すぐに階段を駆け下りた。中学生たちは小学生と合流し、約1キロ離れた高台にある介護施設まで駆け上がった。波がくるのが見えると、先生の指示を待たずにさらに上を目指した。

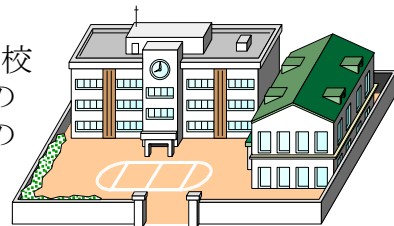
その約10分後、津波は両校を飲み込み、校舎は3階まで水につかった。校内にいた中学生212人と小学生350人は、一人も第1波に飲み込まれずに逃げ切ることができた。(朝日新聞 平成23年3月23日より抜粋)』

釜石を津波が襲ったとき、市内の子どもたちは教師の指示を待つことなく率先して避難し、ほぼ全員が自らの命を守ることができました。これは「奇跡」が起きたのではなく、教師も含め、自ら考え臨機応変に行動する力が、日々の防災教育で培われていたからだと思えます。改めて『命を守る防災教育』の大切さを感じます。

三島市の学校教育では、本年度「命を守る教育」を推進しています。「命を守る教育」とは、『自ら考え、判断し、自他の命を大切にするとともに、自分の命は自分で守る子ども』の育成を図ることです。

本校では、昨年度から保護者の皆様や地域の皆様とともに防災マニュアルの見直し改善を行い、防災指導の充実を図ろうとしています。また、災害時で命を守るだけでなく、日常生活上の安全教育や交通安全教育など、今後、総合的に「命を守る教育」を進め、自ら判断し、自分の命は自分で守る生徒の育成に努めたいと考えています。

さて、ここに宮城県気仙沼市立階上(はしかみ)中学校卒業式の答辞の一部を紹介させていただき、「自然の力の畏怖」や「命の大切さ」、「毎日の当たり前の日々や友達の大切さ」について、改めて考えてみたいと思えます。



階上中学校では、3月12日が卒業式の予定でした。その前日に未曾有の地震が襲ったのです。

『……階上中学校といえば「防災教育」といわれ、内外から高く評価され、十分な訓練もしていた私たちでした。

しかし、自然の猛威の前には、人間の力はあまりにも無力で、私たちから大切なものを容赦なく奪っていきました。天が与えた試練というには、むごすぎるものでした。つらくて、悔しくてたまりません。

時計の針は十四時四十六分を指したままです。でも、時は確実に流れています。生かされた者として顔を上げ、常に思いやりの心を持ち、強く、正しくたくましく生きていかなければなりません。命の重さを知るには、大きすぎる代償でした。

しかし、苦境にあっても、天を恨まず、運命に耐え、助け合っていっていき、これが、これからの私たちの使命です。私たちは今、それぞれの新しい人生の一步を踏み出します。どこにいても、何をしようとも、この地で、仲間と共有した時を忘れず、宝物として生きていきます。

後輩の皆さん、階上中学校で過ごす「あたりまえ」に思える日々や友達がいかに貴重なものかを考え、いとおしんで過ごして下さい。……

お父さん、お母さん、家族の皆さん、これから私たちが歩いていく姿を見守っててください。必ず、よき社会人になります。私は、この階上中学校の生徒でいられたことを誇りに思います。最後に、本当に、本当に、ありがとうございました。

平成二十三年三月二十二日』

登下校中の歩行に注意するように、声かけをお願いします

4月に新学年がスタートし、1ヶ月が過ぎようとしています。4月6日～15日まで春の全国交通安全週間では、職員が通学路や校門での通学指導とあいさつ運動を実施しました。また先日、山田中の前を通行する運転手の方から、左側通行する生徒がいて危ないというご意見をいただきました。朝の歩行状態を確認してみると、確かに小野薬局さんから加茂ハイツ駐車場までに住んでいる生徒が歩道のない左側を歩行している姿が見られました。そこに住んでいる生徒が学校まで危険のない歩道を歩くためには、一回小野薬局さんまで下がり、横断歩道を2回渡る必要があります。

これは不都合だと、三島警察署交通課に相談に行きました。すると、2回横断歩道を渡って歩道を歩くよりも、白線のある左側を少し歩いて歩道に入る方が危険が少ない良いという判断となりました。そこで、その区間に住んでいる生徒には、車に十分注意して左側を歩くように指導しました。生徒も十分注意すると思いますが、地域の皆様も「気をつけて歩きなさい。」と声をかけてあげてください。よろしくをお願いします。



ゴールデンウィーク中も規則正しく生活しよう。

4月28日～5月6日の間は、平日を挟みゴールデンウィークで学校が7日間休みになります。1年生は部活動編成も終わり、部活動に本格的に参加すると思われれます。また連休明けには、青峰祭体育の部や自然体験学習、修学旅行がひかえています。疲れが蓄積する時期ですので、連休明けにスムーズに学校生活が過ごせるようにぜひご家庭でもお子様の健康管理に留意してください。